

にっぽん昆虫記 (1963)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 123分

初公開日 1963/11/16

【解説】

今村昌平が長谷部慶次とともに書いたオリジナル脚本を監督し映画化。コールガール組織のマダムになった女の半生を、昆虫観察のような視線で描いたドラマ。大正7年に東北の農村で生まれた松木とめは、23歳で製糸工場の女工として働き始めた。しかし地主の本田家へ嫁入りさせられ、出征する俊三に抱かれ妊娠する。娘の信子を出産したとめは本田家を出て製糸工場に戻り係長と関係を結ぶようになるが、会社をクビになってしまふ。とめは単身上京し、売春を始める。コールガール組織を作るまでになつたとめは、故郷から父親と娘を呼び寄せた。

【クレジット】

監督 今村昌平

企画 大塚和

友田二郎

脚本 今村昌平

長谷部慶次

撮影 姫田真佐久

美術 中村公彦 [美術]

編集 丹治睦夫

音楽 黒敏郎 Toshiro Mayuzumi

録音 古山恒夫

照明 岩木保夫

出演 左幸子

岸輝子

佐々木すみ江

北村和夫

小池朝雄

相沢ケイ子

吉村実子

北林谷栄

桑山正一

露口茂

東恵美子

平田大三郎

長門裕之

春川ますみ

殿山泰司

榎木兵衛
高緒弘志
渡辺節子
川口道江
澄川透
阪井幸一朗
河津清三郎
柴田新三
青木富夫
高品格
久米明